

『舞台は北海道』

舞台が地元だと、本を手にするきっかけになる方もいるはず。そこで今回は、北海道が舞台の作品を紹介します。

まず紹介するのは、札幌が舞台の『雪の断章（著：佐々木丸美）』。何度も復刊されています。主人公の少女が大人になるまでの心の揺れを繊細で詩的な表現で描いています。昭和のメロドラマ的な雰囲気が好きな方におすすめの作品です。

次は、旭川が舞台の『櫻子さんの足下には死体が埋まっている（著：太田紫織）』シリーズ。平凡な高校生が、知り合いの「三度の飯より骨が好き」なお嬢様に巻き込まれ事件に関わることになります。今年の3月に完結巻が出たので、この機会に一気に読んでみてはいかがでしょうか。

紹介した本以外にも、朝倉かすみ『田村はまだか』や東直己『探偵はバーにいる』、小路幸也『札幌アンダーソング』など北海道が舞台の小説が図書館にはそろっていますので、ぜひ手に取ってみてください。



新刊図書

《一般書》

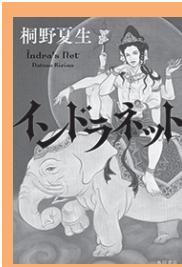
いなかのほんね	来嶋 路子
おたがいさま	群 ようこ
帝国の弔砲	佐々木 譲
代理母、はじめました	垣谷 美雨
麦本三歩の好きなもの第2集	住野 よる
血も涙もある	山田 詠美
利用者“0”人駅	西崎 さいき
スタジオジブリ全作品集	講談社

《児童書》

さくら村は大さわぎ	朽木 祥
モンスター・ホテルでおばけやしき	
	柏葉 幸子
すごい植物図鑑	稲垣 栄洋
ぴぽん	内田 麟太郎

新刊図書おすすめ!!

『インドラネット』 桐野 夏生



何の取り柄もないことに強いコンプレックスを抱いて生きてきた八目晃。高校時代の親友の野々宮空知がカンボジアで消息を絶ったことを知り、東南アジアの混沌に飛び込むが…。

『海とそらがであうばしょ』

テリー・ファン、エリック・ファン
絵 黒井 健



おじいさんが話してくれた、海とそらがであう場所について思いをはせるフィン。一緒に見に行く約束をしていたおじいさんは、もういない。フィンは自分で船をつくり、海に出て…。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記の URL か QR コードからどうぞ。
http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php

